

(様式第7号)

令和7年度 年度評価表

1 指定管理施設の概要

施設名	舞鶴市加佐デイサービスセンター		
指定管理者	社会福祉法人 成光苑		
設置目的	在宅の虚弱老人等の生活の助長及び心身機能の維持・向上等並びにその介護を行う家族等の負担の軽減を図る。		
選定方法	非公募	指定期間	令和5年4月1日～ 令和10年3月31日
所管課	福祉部高齢者支援課		

2 利用状況等の推移

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	年度	年度
利用者数(人)	5,510	5,255	5,355		
利用料金(円)	55,187,884	54,830,000	56,713,490		
納付金(円)	2,850,000	2,850,000	2,850,000		

3 成果(数値)目標の達成状況

成果(数値)目標の種類	市設定目標	年間目標(A)	実績(B)	達成率(B/A)
稼働率	75%	90%	86%	95.6%

4 収支状況

(円)

収入		支出	
利用料金	56,713,490	人件費	28,393,529
指定管理料	0	維持管理費	7,927,571
事業収入	0	事業費	6,304,450
その他	27,420	その他	1,742,517
合計	56,740,910	合計	44,368,067
差額			12,372,843

5 所管課による評価

項目	評価	コメント
(1) 事業計画の達成度		
成果(数値)目標を達成しているか	○	市設定目標達成率115%
施設の将来的な構想(ビジョン)に沿った運営を行ったか	○	運営方針に沿った運営ができた。
施設の果たすべき使命(ミッション)を果たしたか	○	設置目的を果たすことができた。
市指定事業、自主事業は計画どおり行われたか	○	協定書、仕様書等の基準に基づき、事業の運営ができた。
利用者数の増加、利用率の上昇などが図られたか	◎	稼働率の向上・サービスの向上に取り組んだ
(2) 利用者の満足度		
利用者の満足が得られたか	◎	利用者の満足が得られた。
利用者の意見・要望の把握は適切に行われたか	○	職員が利用者・家族・地域とのコミュニケーションのなかで把握するとともに、アンケートを実施した。
利用者の要望・苦情への対応は十分に行われたか	○	苦情に対する適切な対応ができた。様々な要望に対して可能な限り対応できた。
(3) 管理運営の効率性		

経費の節減が図られたか	◎	自然風の導入やうちわの配布を行った
委託費、物品の購入費等の経費が最小となるような取組が行われたか	○	コピー用紙の再利用等に努めた。
収入増加のための取組が行われたか	◎	加佐地区を中心に舞鶴市西地区の地域包括支援センター、介護サービス事業所へ訪問活動を実施するとともに情報収集を行った。
(4) 適正な管理運営		
適切な人員配置が行われたか	○	介護保険法等の基準等に基づき、適切に人員を配置できた。
職員の能力向上のための取組が行われたか	○	介護技術の勉強会等により、職員のサービス提供の質の向上に取り組んだ。
施設の平等な利用が行われたか	○	介護保険法等の規定等に基づき、適切にサービスを提供できた。
個人情報の管理が適切に行われたか	○	介護保険法等の基準等に基づき、適切に管理できた。
情報の公開が適切に行われたか	○	介護サービス情報公表制度等に基づき、適切に情報を公開できた。
収支状況や会計処理が適切か	○	介護保険法等の基準等に基づき、適切に経理できた。
施設・設備の法定点検及び保守が適切に行われたか	○	介護保険法等の基準等に基づき、適切に維持管理できた。
備品等の管理が適切に行われたか	○	介護保険法等の基準等に基づき、適切に維持管理できた。
危機管理、安全対策などは十分か	○	介護保険法等の基準等に基づき、対策を講じた。
法令等を遵守し、適正な管理が行われたか	○	指定通所介護事業所として法令等を遵守し、適正に管理できた。
(5) その他コメント		
サービス向上	加佐地区を中心に、舞鶴市西地区の地域包括支援センター、介護サービス事業所を訪問し、加佐包括と加佐デイサービスセンターの魅力発信のための訪問活動を実施すると共に情報収集を行い、年間22件の新規利用者を獲得した。	
経費削減	節電の取組等により、光熱水費・燃料費・消耗品等について、経費削減を職員一人ひとりが徹底した。	
施設の維持・管理	介護保険法等の基準等に基づき、適切に維持管理できた。	

※ (1)から(4)までにおける評価区分

◎(優)： 協定書、仕様書等の基準を遵守し、その水準より優れた内容である。

○(良)： 協定書、仕様書等の基準を遵守し、その水準に沿った内容である。

△(可)： 協定書、仕様書等の基準を概ね遵守しているが、内容の一部に課題がある。

×(不可)： 協定書、仕様書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な内容である。

6 選定委員会による評価

評価点	3.62点	※左記の点数は、各委員が次の5段階評価を行い、その点数を平均したものです。 5：良い、4：やや良い、3：普通、2：やや悪い、1：悪い
総評	- 稼働率は目標を大幅に超えており、利用人数も増加した点は大変評価できる。 - 法令に基づき適切にサービスを実施できている。 - 正確な運営状況を把握できるよう、適切な収支の計上と報告をしてほしい。 - 公設民営で維持するメリットが薄れつつあるため、今後の方針を検討してほしい。 - 多額の利益がでているため、人件費を増額し、待遇の改善を図られてはどうか。	

《参考》 過年度の評価点

令和5年度	令和6年度	年度	年度	平均
3.40点	3.83点			